

社外からの評価

活動・実績

日立は持続可能な社会の発展に向けた取り組みを積極的に推進している企業グループとして、さまざまな外部機関より高く評価されています。

ESG投資評価に積極的に対応

日立はESG投資*1に必要な外部評価に積極的に対応しています。

日立製作所は、企業の環境分野における取り組みや情報開示の質に関してランク付けを行うCDP*2から、水について最高のA、気候変動についてA-と高い評価を受けたほか、Euronext Vigeo Eiris World 120 Index*3にも選定されています。

また、グループ会社では、日立建機がダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・アジア・パシフィック・インデックス(DJSI*4 Asia Pacific)に選定されたほか、日立金属、日立建機、日立ハイテクのグループ4社がFTSE4 Good Index Series*5に採用されるなどの評価を受けました。

*1 ESG投資：環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)の3要素を重視した企業経営を評価し、銘柄選定などを行う投資活動

*2 CDP：英国に本部を置く国際NGO。気候変動、水資源、森林保護の3分野について、企業の環境分野における取り組みや情報開示の内容をAからDマイナスまで8段階で評価

*3 Euronext Vigeo Eiris World 120 Index：米国や欧州で多数の証券取引所等を運営するNYSE Euronext 社(米国)と、ESG調査会社であるVigeo Eiris 社(フランス・英国)による指標。欧州、北米、アジアパシフィック地域における、「環境」「社会」「ガバナンス」の観点で評価を得られた企業上位120社で構成

*4 DJSI：Dow Jones Sustainability Indicesの略称で、ダウジョーンズ社(米国)とRobecoSAM社(スイス)が開発したESG投資インデックス。銘柄選定範囲に応じてグローバルあるいは地域別のインデックスが設けられている。グローバルに銘柄を選定しているインデックスの例にDow Jones Sustainability World Index が、日本とアジア、オーストラリアの銘柄を対象とするインデックスの例にDow Jones Sustainability Asia Pacific Indexがある

*5 FTSE4 Good Index Series：ロンドン証券取引所が出資するFTSEグループが算出するインデックスの一つで、環境マネジメント、気候変動の軽減、人権および労働者の権利、サプライチェーン労働基準、贈収賄防止の5つのESG(環境・社会・ガバナンス)テーマに沿って銘柄を選定している

2019年度のCDPによる評価

会社名	スコア
日立製作所	【気候変動】A- 【水】A
日立金属	【気候変動】B- 【水】B-
日立建機	【気候変動】A- 【水】B
日立ハイテク	【気候変動】B 【水】B

2019年度のESGに関する社外評価実績

評価機関	評価指標	選定された会社名
RobecoSAM	Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index	日立建機
MSCI	MSCI ジャパンESG セレクト・リーダーズ指数	日立金属、日立建機、日立ハイテク
	MSCI 日本株女性活躍指数(WIN)	日立金属、日立ハイテク
FTSE	FTSE4 Good Index Series	日立金属、日立建機、日立ハイテク
	FTSE Blossom Japan Index	日立金属、日立建機、日立ハイテク
VigeoEIRIS	Euronext Vigeo Eiris World 120 Index	日立製作所



「ダイバーシティ経営企業 100選」に選定

日立製作所は経済産業省が実施する「ダイバーシティ経営企業 100選」に選定されています。「ダイバーシティ経営企業100選」は外国人、高齢者、障がい者、女性など多様な人財を活用してイノベーション創出や生産性向上などの成果を上げている企業を選定・表彰する制度です。日立のダイバーシティの取り組みについては、制度導入にとどまらず、経営トップの強いコミットメントのもと、経営戦略として日立全体で推進していることが高く評価されました。



「次世代育成支援対策推進法」認定マークを取得

日立製作所は、従業員が仕事と家庭を両立させながら安心して働けるように「日立製作所行動計画」*1を策定して積極的に推進した実績が認められ、「次世代育成支援対策推進法」認定マーク(愛称:くるみん)*2を交付されています。

*1 右カラムのリンク参照

*2 日立グループで「くるみん」を取得している企業:日立建機、日立ハイテク、日立アーバンインベストメント、日立システムズ、日立ソリューションズなど



「女性活躍推進法」認定マークを取得

日立製作所は、ダイバーシティマネジメントを重要な経営戦略と位置づけ、多様な人財が活躍できる環境の整備に取り組んでいます。この取り組みが評価され、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」(女性活躍推進法)に基づく取り組みの実施状況が優良な企業として認定マーク(愛称:えるぼし)を交付されています。日立製作所は3段階評価中、2段階目の認定を受けています。このほか、日立グループでは、日立ハイテク(3段階目)、日立システムズ(3段階目)、日立ソリューションズ(3段階目)などの複数の会社が「えるぼし」を取得しています。



第1回「ESG ファイナンス・アワード」で銀賞を受賞

日立製作所は、環境省がESG金融の普及・拡大を目的として創設した「ESG ファイナンス・アワード」で銀賞を受賞しました。2019年度に初めて開催したESG説明会において日立が示した明確なトップコミットメントや投資家などのフィードバックを真摯に受け止める姿勢のほか、サステナビリティ経営をグループ全体に浸透させるためのグループガバナンス体制、気候変動を含む野心的な環境長期目標とそれを踏まえて3年ごとに設定する「環境行動計画」に基づく着実なPDCA推進姿勢などの継続的な取り組みも高く評価されました。

「日立 統合報告書 2019」が「日経アニュアルリポートアワード」グランプリおよびWICIジャパン「統合報告優良企業表彰」奨励賞受賞

「日立 統合報告書 2019」は、日本企業のアニュアルリポート(年次報告書)の中から特に優れたものを表彰する「第22回 日経アニュアルリポートアワード」(主催・日本経済新聞社)でグランプリを受賞しました。経営トップの思い、イノベーションの加速に向けた一貫性のある成長戦略、リスクに対する考え方・対応方針など、全体を通して投資家に納得感を与える丁寧な記述が充実していると高く評価されました。また、同報告書はWICIジャパン主催の「第7回 統合報告優良企業表彰」においても、「統合報告奨励賞」を受賞しています。

日立製作所行動計画
http://www.hitachi.co.jp/sustainability/value/pdf/hitachi_action_plan.pdf